

行方不明者の家族、故郷に戻れない家族への支援 ～「あいまいな喪失」事例検討会のご案内～

家族が行方不明であったり故郷の町に戻れない状況を「あいまいな喪失 (Ambiguous Loss)」と呼びます。その支援の第一人者である Pauline Boss 博士と Skype 中継を行い、岩手と福島で事例検討会を開催します。Boss 博士からコンサルテーションを受けながら、あいまいな喪失に苦しむさまざまな家族の支援経験をもち、9.11 の米国テロの際にも成果をあげた。著書に『『さよなら』のない別れ 別れのない『さよなら』』学文社、「Loss, Trauma, and Resilience: Therapeutic work with ambiguous loss」など。

講師紹介：Pauline Boss 博士（ミネソタ大学）

ミネソタ大学名誉教授。自身の体験から「あいまいな喪失 (ambiguous loss) 理論」を提唱。行方不明者の家族、認知症患者の家族など、あいまいな喪失に苦しむさまざまな家族の支援経験をもち、9.11 の米国テロの際にも成果をあげた。著書に『『さよなら』のない別れ 別れのない『さよなら』』学文社、「Loss, Trauma, and Resilience: Therapeutic work with ambiguous loss」など。



岩手会場

日時：**9月12日(金)** 9時～16時30分
(10時からの参加も可)

対象：東日本大震災の被災者支援を行う専門職・専門家、行政職員（保健師、看護師、医師、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士、行政職員等）

定員：60 名（申し込み多数の場合は、被災地の方を優先させていただきます）

内容：「事例検討」「あいまいな喪失理論講義」「グループワーク」

資料代：1000 円

場所：岩手大学三陸復興推進機構釜石サテライト（釜石市大字平田第三地割 75-1）

申し込み締め切り：7 月 31 日

（人数に余裕があれば、締め切り後も受付します）

福島会場

日時：**11月22日(土)** 9時～16時

対象：東日本大震災の被災者支援を行う専門職・専門家、行政職員（保健師、看護師、医師、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士、行政職員等）

定員：70 名（申し込み多数の場合は、被災地の方を優先させていただきます）

内容：「事例検討」「あいまいな喪失理論講義」「グループワーク」

資料代：1000 円

場所：福島大学人間発達文化学類棟遠隔授業室（福島県福島市金谷川 1 番地）

申し込み締め切り：10 月 15 日

（人数に余裕があれば、締め切り後も受付します）

事例検討会の詳細および申し込みは、JDGS Project「あいまいな喪失」情報ウェブサイト（<http://al.jdgs.jp/>）をご覧ください。申込みは HP 内の専用フォームでお申込みください。専用フォームにアクセス出来ない場合は、ambiguous_loss@human.ryukoku.ac.jp にてお申込みください。

お問い合わせ先 龍谷大学短期大学部 黒川雅代子 ambiguous_loss@human.ryukoku.ac.jp

▶主催：JDGS Project（Japan Disaster Grief Support）

共催：日本家族研究・家族療学会、岩手大学三陸復興推進機構、福島大学生島研究室

後援：岩手県こころのケアセンター、みやぎ心のケアセンター、ふくしま心のケアセンター、ふくしま被害者支援センター、岩手県沿岸広域振興局、NPO法人子どもグリーフサポートステーション、NPO法人仙台グリーフケア研究会